

( 令和4 ) 年度 学童クラブ事業年間活動報告書

( 京都市深草 ) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人				
学童室の整理整頓 (1)	随時															自分のロッカーの整理整頓。昼食・おやつ時の机の消毒等
子どもの状況等の把握 (1)	毎日															連絡帳等で把握し、出欠の有無、児童の体調管理も把握する。
おやつ提供 (1)	毎日															基本生協で注文をするが、行事があるときは、スーパー等で購入する。
挨拶の励行等の指導 (1)	毎日															おかえりの会等であいさつについて指導している。
学習の習慣化 (1)	毎日															毎日の声掛けと長期休み中は毎日朝の時間に学習時間を設けている。
館庭掃除 (1)	随時															雑草抜きや枯葉の掃除等を児童と一緒にしている。
年末大掃除 (1)	1回	15	16	10	2	0	1									44 年末最終日に児童と一緒に館内、前庭の掃除を行う。
お花見 (2)	1回	16	17	12	2	1	1									49 前庭の桜の木の下にブルーシートを敷き、お弁当を食べる。
新入生歓迎会 (2)	1回	14	16	14	7	2	1									54 新入生を歓迎するための上の児童が遊びや特技披露を行う。
誕生日会 (2)	12回	144	192	127	20	6	7									496 毎月誕生日の児童をお祝いする。
看護の日 (2)	(2)															コロナの為中止
こいのぼり作り (2)	1回	12	10	7	1	0	1									31 こいのぼり製作を行い館内に展示した。
伏見子どもまつり (2)	1回	10	10	5	1	1	0									27 コロナの為各館開催となったが、コーナー遊び等を展開した。
学生さんと遊ぶ(水遊び) (2)	(2)															コロナの為中止
学生ボランティア育成プロジェクト (2)	(2)															コロナの為中止
なかよしマーケットの品物製作 (2)	6回	42	50	39	8	3	4									146 なかよしマーケットに向けて児童に品物製作の時間を設ける。
なかよしマーケット (2)	2回	8	11	10	6	4	0									39 各館で買い付けた商品でお買い物をする。
ふかくさ夏祭り (2)	1回	7	11	8	5	3	0									34 前庭も使用しコーナー遊びを展開する。
交通安全教室 (2)	1回	12	11	7	3	2	0									35 コロナの為中止
京都やんちゃフェスタ (2)	(2)															コロナの為中止
焼いも会 (2)	1回	5	11	6	1	1	1									25 季節行事として前庭で火起こしをして開催した。
お店屋さんごっこ (2)	1回	4	9	9	4	5	0									31 おやつ時間に高学年が売り手のなってお金に見立てた紙で買い物。
クリスマス会実行委員会 (2)	4回	0	0	16	4	0	2									22 クリスマス会に向けて高学年が会の企画、準備を行う。
クリスマス会 (2)	1回	6	10	6	2	0	1									25 高学年が主で実施し、ゲーム大会やハンドベル演奏を行う。
新春行事(書初め) (2)	1回	2	4	1	0	0	0									7 冬休み(正月)に職員が指導しながら書初めを行う。
4館交流ドッジボール大会 (2)	(2)															コロナの為中止
お弁当いらないDAY (2)	1回	10	10	8	2	0	1									31 王将から提供していただいたお弁当を児童へ支給した。
お別れ遠足 会議 (2)	(2)															コロナの為中止
お別れ会&修了式 (2)	1回	11	12	8	2	0	1									34 卒館する児童を送り出し、修了証やアルバムの授与を行う。
お別れ遠足 (2)	(2)															コロナの為中止
検定 (2)	11回	60	72	36	0	0	0									168 毎月末にけん玉と一輪車の検定を行う。
子ども食堂 (2)	33回	55	77	63	4	1	2									202 運営協力会に協力していただき児童へ楽しい食事時間を提供する。
京都市将棋大会 (2)	2回	0	2	0	0	2	1									5 1日目リモート、2日目は会場での対面対戦を行った。
映画会 (2)	随時															主に長期休み中にスクリーンにて映画を上映、鑑賞する。
KYOTO GRAPHY (2)	1回	0	0	4	2	0	0									6
防災・避難・防犯・訓練 (2)	12回	108	102	59	19	0	6									294 年間を通し災害の危険、避難方法について学ぶ。
チャレンジクラブ (2)	22回	77	132	70	0	0	0									279 月2回製作や実験などに挑戦する。
ハンドメイドクラブ (2)	22回	75	88	79	20	0	0									262 月2回製作をメインに活動する。
将棋クラブ (2)	22回	39	40	0	0	0	6									85 月2回将棋の上達を目指し対戦などを行う。
落ち葉清掃 (2)	随時															前庭の落ち葉を児童と一緒に掃除する。
保護者会 (3)	2回															24 活動の報告や年間行事の説明、懇談を行う。
新一年生説明会 (3)	1回															12 新入生の保護者を対象に児童館の利用説明を行う。
学童クラブ登録説明会 (3)	1回															15 学童クラブへの登録方法について説明を行う。
学校の先生との懇談や連絡 (3)	随時															児童や保護者の気になる様子について情報共有を行う。
関係機関との連携 (3)	随時															必要に応じて障害児施設や保育所等と情報共有を行う。
保育園の先生と懇談 (3)	随時															新一年について気になることがあれば情報共有を行う。
保護者面談 (3)	随時															新入生は必ず、在館生は必要に応じて面談を行う。
介助者との懇親会 (1)	1回															2 日常の活動での情報共有を行う。
介助者との面談 (3)	4回															8 対象児童についての迎える準備、調整等を行う。

( 令和4 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 京都市深草 ) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<p>手洗い・うがい励行 遊具・玩具などの定期的なチェック 昼食時・おやつ時の衛生管理 登館・下館時の安全の確保</p> <p>健康チェック(各小学校と連携)</p> <p>挨拶の励行 学習時間の確保(長期休暇中) ※平常時については自主性で取り組む 連絡帳の出欠確認 整理整頓 (ロッカーの整理・おもちゃの整理等)</p> <p>物の大切さを教える。</p>	<p>手洗い、うがいは日々の活動の中で呼びかけはしていたが、インフルエンザが流行る時期には、館内でもインフルエンザの児童が見られた。しかし、手洗い・うがいの徹底で館内で大流行することはなかった。年度終盤で新型コロナウイルスの感染拡大で手洗い・うがいの徹底を児童に促した。館内入口にアルコール消毒を設置した。</p> <p>月に一度、安全点検の日を設けて、館内、前庭の安全確認を実施した。危険な個所については職員間で共有し、その問題解決にあたった。また玩具類は定期的にアルコール消毒を行い、割れている玩具等は処分した。</p> <p>アルコール消毒を机だけでなく、手すりやドアノブなど共有部分に念入りに行い、衛生管理に努めた。また子どもたちの手洗い、うがいの徹底を促した。職員が食品に触る時はゴム手袋の着用に努めた。また食品の冷蔵庫保管にも注意した。館内に手洗いのマニュアルを掲示し、児童にも周知した。</p> <p>各小学校と連携を取りながら、来館時刻の確認、職員間の共有に努めた。また地域の見守り隊の方に危険な個所を教えてもらったり、日々の通学でもサポートしていただけた。職員も児童の17時帰りのグループに引率したり、子ども110番の家を確認した。</p> <p>インフルエンザによる学級閉鎖など、学校と連携を取り、情報を共有した。また館内で体調を崩した場合は、他の子と隔離し、風邪などが蔓延しないように努めた。</p> <p>来館時、帰館時にはもちろん日常生活における様々な場面で挨拶をすることの大切さを伝え、周知した。結果として、児童の方から様々な挨拶をしてくれるようになった。また積極的に外部の方や地域の方にも挨拶をしている場面が見られた。</p> <p>長期期間中は朝の時間を利用して、学校の宿題をする事を促した。家庭からドリルを持参したり、読書をするをする児童もいたが静かな環境の中で、それぞれが課題に向き合うことができた。ただ、一部の児童は短時間で集中が切れてしまい、立ち歩いたりしてしまった。その結果集中している子にも悪い影響が派生してしまったこともある。</p> <p>昨年に引き続き、来館時に連絡帳の提出を促し、出し忘れがないように努めた。帰館時には連絡帳を持って帰るように声をかけた。保護者の方も連絡帳の重要性を認知してくれている。</p>
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<p>グループ活動・班活動(長期休業中限定) (助け合って当番の仕事をやり返げる) 定期的な活動 (エコの日・お誕生日会・わんぱくランド) 季節行事 (新入生歓迎会・クリスマス会・お別れ会・修了式等)</p> <p>館所外活動 (伏見子どもまつり・京都やんちゃフェスタ等) クラブ活動 (ダンスクラブ・ドッジボールクラブ(児童館事業) ハンドメイドクラブ・将棋クラブ)</p> <p>長期休業中の活動 (なかよしマーケット・品物製作・新春行事等)</p>	<p>生活体験の拡充では、やきいも会や恵方巻きを食べるなど、児童館だからこそ出来る季節行事の他、館外活動行事も行ってきた。また卒館生が自由来館児童として、行事に参加したりするなどして、学童クラブと自由来館の児童の交流が見られた。グループ活動・班活動は長期休暇のみ行った。平常時、グループ活動を行わないことで、3校からのバラバラの時間帯で登館する児童の負担軽減に繋がりを、児童館を心地よいと感じてくれている児童も見られた。また長期休暇中は、班活動を行う中で上級生の児童達が、積極的に職員の手伝いしてくれた。その中で低学年の児童も何か手伝うことはないか職員に聞いてくれる場面もあった。お誕生日会は毎月の月末頃に、実施した。みんなの前で何歳になったのかを発表して、みんなの前で発表するために事前練習をする児童もいた。長期休暇中では、恒例行事となっている「なかよしマーケット」や龍谷大学の学生さんと交流する「学生さんとあそぼう」などを取り組んだ。今年度のクリスマス会でも実行委員会を立ちあげ、しっかりと役割分担をすることで、それぞれが責任感を持って取り組んでいた。また人前に出ることが苦手な児童が友達と一緒に参加すると言ってくれたこともあった。</p> <p>クラブ活動では、明確な目標があることで児童らの意欲が向上しているように感じた。また今年度は、ダンスクラブが深草ふれあいプラザに出演をした。ドッジボールクラブでは、月に2回、近所の公園で練習をしていた。4館交流での大会では、日頃の練習の成果を出し、準優勝することもできた。各クラブ活動全てに言えることだが、上手な人が下の子に教えてあげる場面があったり、下の子が上手な上級生に教えてもらうために声をかけたりして、児童たちが自ら上手になるうとしている場面があったことが大変よかった。</p> <p>長期休業中の活動においては、毎年恒例の夏祭りに学生ボランティアの協力だけでなく、保護者ボランティアや学童クラブOBOGの協力も募った。多くの方が参加してくださり、児童館が一体となった行事になった。来年度以降も保護者ボランティアやOBOGの参加をお願いしていく予定。</p>
子育て支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<p>保護者説明会の実施 おたよりの活用</p> <p>個別相談活動</p> <p>学校・地域・関係機関との連携</p>	<p>年に2回の保護者会を行った。事業説明よりも、子どもの課題や様子を話す方をメインとした会とすることで、参加人数を増やすことができた。また壁に子どもたちの絵や書道の作品を飾り、保護者の方にも見ていただき、保護者の方の満足感を高めることもできた。保護者会の1回目(7月)は、長期休暇時(夏休み)の行事内容及び一日の過ごし方を説明し、夏休みまでの子どもたちの様子をスライドを通して保護者に見てもらった形式をとった。又、9月以降の行事の内容を報告し、最後に児童館からお伝えしたいことの話を行った。年度末の保護者会では来年度より始まるICTの説明会も行った。</p> <p>個別相談活動では、日々の児童と過ごす中で一人ひとりの課題や問題を把握し、状況によっては、保護者の方と面談を行う形式をとった。また、障害のある児童については、保育園以外に療育センターとの話し合いなども例年行っている。</p> <p>また、日々の状況で問題ある児童については、学校との連携を図るなど、小学校との日常からの相互理解と信頼関係を努力してきた。</p> <p>児童や保護者に関する問題等について、学校の担任の先生方や関係機関と連携し、情報を共有して問題解決に向けて動いた。</p>

( 令和4 ) 年度

## 児童館事業年間活動報告書

( 京都市深草 ) 児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	乳幼児クラブたより	月1回	乳幼児の保護者	近隣の児童福祉施設や役所への配布 乳幼児クラブの際に職員による案内 当児童館での配付 ホームページ掲載	乳幼児クラブの紹介 児童館行事の案内・その他自由参加の取組 の紹介 図書貸し出しについてや紹介	地域の乳幼児の保護者に徐々に周知されてきた。ホームページに掲載するようになり地域住民のほか、遠方から引っ越しされてきた方にも情報提供できるようになった。
	児童館だより	月1回	学童クラブ児童とその保護者 乳幼児の保護者 一般来館者 近隣の福祉施設・深草学区各種 団体・小中高校・大学・役所へ	学童クラブ児童への配布 当児童館での配付 近隣の福祉施設・深草学区各種団 体・小中高校・大学・役所への配布 ホームページ掲載 ポスターにして児童館掲示板に掲示	一般来館者対象のクラブや行事内容 児童館からのお知らせ・お願い 前月の活動報告	地域の役員さん等たよりの配布先を増やし、 回覧板にて地域住民にも当館の取組を知って もらえるようになった。ホームページに掲載 するようになり、遠方にお住みの方に児童館 の取組を知ってもらえた。
	親子通信	2か月に1回	幼児クラブ登録保護者	当児童館での配付 郵送	幼児クラブ行事予定表 行事内容の詳細	先の活動予定を載せているので登録されてい る保護者に見通しをもって活動してもらえる ようになった。カラー印刷にし、より見やす いお便りになった。近隣の幼稚園の行事予定 も把握しながら取組内容を決める。
	大学生ボランティア募集	通年	近隣の大学の学生	大学の掲示板や研究室等へポスター 掲示	学童クラブや一般来館児童との関わりや行 事のお手伝いをしてくれる学生の募集	大学でのポスター掲示やチラシも定着し、多 くの学生に興味を持ってもらう機会も増え た。今後はホームページでの広報にも力をい れていく。
	介助ボランティア募集	通年	地域住民・学生	当児童館でのポスター掲示 役所でのポスター掲示 広報誌ボランティアーズ掲載	学童クラブに通う障害のある児童の生活の お手伝いや小学校へのお迎えをしてくれる 方の募集	広報誌ボランティアーズでの募集が一番効果 的だった。活動していただく介助者と定期的 に話し合いを持ち、意見交換することでより 良い介助ができるようにサポートする。

地 域 福 祉 促 進 機 能	基本 活 動	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		(4) 児童館を支える地域 組織作り		深草児童館運営協力会		深草小学校PTA 深草女性会 その他地元役員	4回	運営委員会総会 3年度決算報告 3年度予算報告 4年度児童館事業計画案 4年度学童クラブ事業計画案 運営委員会役員会
	推進 活 動	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先 (団体・機関等)		成果と課題
(5) 地域への施設提供		図書室の提供 遊戯室の提供 児童書・一般本の貸し出し 紙芝居の貸し出し 運動会などで使われる道具などの貸し出し 椅子・机の貸し出し		地藏盆 地域住民の話し合い 子育て支援 PTAの行事 近隣の児童館の年中行事 地域住民の話し合い 育児サークル		池ノ内町西部 池ノ内町西部老人会 地域の乳幼児親子 深草小学校 うずらの里児童館 池ノ内町西部老人会	地域住民に広く児童館を知ってもらえるよう、掲示物だけでなく、お便りやチラシを近隣の町内で回覧してもら えるようにした。徐々に当館の取り組みを周知してもら えるようになった。	
(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題		

地域	基	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生			大人	合 計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
地 域	基	夏祭り	1回	京都市深草児童館			26		8		2	36	運営協力会	大学生ボランティアもあり賑やかな祭りになった。  コロナの為オンライン開催
		ふかくさ亭	33回	京都市深草児童館			186		34		43	263		
		深草ふれあいプラザ												
		合 計	34	—							299			
福 祉	本	活 動 内 容		活 動 人 数				成 果 と 課 題						
		・龍谷大学NPOボランティアセンターとの連携		中高生	大学生	大人	合 計	コロナの影響によりボランティア活動が難しいなかではあったが、長期的に来てくれている大学生もおり、興味を持って連絡をしてくれる方も増えている。						
					4		4							
		合 計		4		4								
機 能	動	連 携 団 体 等	連 携 内 容						成 果 と 課 題					
		(3)地域との連携を促進する活動	地元連合会、社会福祉協議会、民生児童委員会、女性会、深草地域の児童館・中学校・小学校・幼稚園・保育園・地元池ノ内町内会・うずら会（深草学区老人会）  深草学区の各種団体及び深草学区内にある小学校、中学校、高校、大学、幼稚園、保育園に毎月「児童館だより」を配布すると共に、「キッズステーション」も配布している。また、深草ふれあい事業実行委員会主催の「深草ふれあいプラザ」への参加。						地域の方が見守り隊で来て頂いて、登館中の児童の安全を守る取り組みを児童館・地域が一体となり、取り組んでいる。					

令和 4年度 京都市深草児童館 決算報告書

歳 入

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差引増△減	備 考
京 都 市 委 託 料	28,052,056	28,240,035	-187,979	
寄 付 金			0	
保 護 者 負 担 金	5,021,371	4,113,541	907,830	
助 成 金	30,800	308,000	-277,200	RS(事務費:39,600, 職員諸手当237,600)
引当金取崩収入			0	
雑 収 入	116,638	181,482	-64,844	
合 計	33,220,865	32,843,058	377,807	

歳 出

項 目	予 算 額	決 算 額	差引増△減	備 考	
人 件 費	給 料	16,746,070	16,651,867	94,203	
	期 末 勤 勉 手 当			0	
	通 勤 手 当		857,536	-857,536	
	諸 手 当	7,403,042	6,552,279	850,763	前長手当( ) 超勤( ) 勤続手当( )
	社会保険料事業主負担分	5,281,173	5,465,815	-184,642	予算額：前払年金費用(871,087)含む 決算額：企業年金掛金(1,806,790)含む
	職 員 健 診 料	0	0	0	
小 計	29,430,285	29,527,497	-97,212		
事 業 費	光 熱 水 費	589,806	599,699	-9,893	電気(507,187) ガス(59,094) 水道(33,418)
	通 信 運 搬 費	270,342	275,556	-5,214	電話(247,198) 切手(28,358) 庸車( )
	児 童 館 保 険 料	179,909	179,961	-52	
	建 物 営 繕 費	59,675	112,475	-52,800	
	備 品 ・ 図 書 費	557,069	557,069	0	
	消 耗 品 費	1,162,744	949,589	213,155	
	行 事 費	324,134	312,388	11,746	
	ア ル バ イ ト 費			0	
	諸 費	2,823,291	2,785,874	37,417	雑支出含む
	小 計	5,966,970	5,772,611	194,359	
引 当 金 繰 入			0		
予 備 費			0		
合 計	35,397,255	35,300,108	97,147		

委託料余剰金

項 目	令和3年度末累計	取 崩 額	繰 入 額	令和4年度末累計
修繕に充てるもの				
備品購入に充てるもの				
特別事業に充てるもの				
合 計				

以上報告します。

令和5年 7月10日